

9. かぼちゃ

・殺菌剤

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M1	キノンドー水和剤40	散布	収穫7日前まで	3回以内	
M5	ダコニール1000	散布	収穫7日前まで	3回以内	
M10	モレスタン水和剤	散布	収穫3日前まで	3回以内	

・殺菌剤（参考農薬）

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
11	ストロビーフロアブル	散布	収穫前日まで	3回以内	
NC	ハーモメイト水溶剤	散布	収穫前日まで	-	野菜類
7+M5	ベジセイバー	散布	収穫7日前まで	3回以内	
9	フルピカフロアブル	散布	収穫前日まで	4回以内	

・殺虫剤

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	エルサン乳剤	散布	収穫3日前まで	3回以内	
1	ダイアジノン水和剤34	散布	収穫21日前まで	4回以内	

・殺虫剤（参考農薬）

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
23	モベントフロアブル	散布	収穫7日前まで	3回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

注4) 蚕毒・魚毒については、「56. 野菜類の総括注意」も参照する。

病害虫名 (F : 菌類病、B : 細菌病、V : ウイルス病、O : その他の病原体)

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
べと病 (F)	生育期間	1. キノンドー水和剤40の800倍液を散布する。 [参考農薬] 1. ベジセイバー1,000倍液を散布する。	1. 葉裏にも、薬液が十分付着するように散布する。
うどんこ病 (F)	7月下旬～ 収穫期まで	1. ダコニール1000の1,000倍液、又はモレスタン水和剤3,000倍液を散布する。 [参考農薬] 1. ハーモメイト水溶剤800倍液、ベジセイバー1,000倍液、フルピカフロアブル2,000～3,000倍液、ストロビーフロアブル3,000倍液のいずれかを散布する。	1. ハーモメイトは残効性を有しないので、直接病斑部分に十分かかるよう散布する。散布間隔は5日位とし、2～3回連続散布する。 2. フルピカは、おうとうにかからないようにする(薬害)。 3. QoI剤に関する注意事項「56. 野菜類の総括注意」参照。
アブラムシ類 (ウイルス媒介)	生育期間	1. エルサン乳剤1,000倍液、ダイアジノン水和剤34の2,000倍液のいずれかを散布する。 [参考農薬] 1. モベントフロアブル2,000倍液を散布する。	1. 多発するとウイルス病の発生も多くなる。発生初期防除する。 2. エルサン、ダイアジノンは魚毒に特に注意する(特別指導事項参照)。 3. モベントは水産動物(甲殻類)に影響があるので注意する。 4. モベントは蚕毒に注意する。 5. モベントは不稔などの薬害のおそれがあるため、水稲にかからないよう注意する。
コナジラミ類	生育期間	[参考農薬] 1. モベントフロアブル2,000倍液を散布する。	1. モベントは水産動物(甲殻類)に影響があるので注意する。 2. モベントは蚕毒に注意する。 3. モベントは不稔などの薬害のおそれがあるため、水稲にかからないよう注意する。